

環境白書の発行に当たって



美しいサンゴ礁の広がる青い海、生命を育むマングローブの森、躍動する多様な動植物。世界的にも貴重で豊かな本県の自然環境は、沖縄らしい生活、伝統文化、心をも育み、多くの人々に感動や安らぎを与えています。こうしたかけがえのない自然環境を将来へ引き継いでいくことは御万人うまんちゅの願いであるとともに、県民の重要な努めだと考えています。

しかしながら、本県の環境は、赤土等による水域の汚染や米軍の航空機騒音、移入種等による生態系のかく乱、廃棄物問題、地球規模の環境問題など多岐にわたる問題を抱えており、とりわけ気候変動(地球温暖化)については、県土・自然・産業・健康など広範囲かつ将来世代に渡る深刻な影響が懸念されており、大きな岐路に差し掛かっています。

こうしたなか、本県では、沖縄県環境基本計画に基づき、「豊かな自然環境に恵まれたやすらぎと潤いのある沖縄県」の実現に向け、循環・共生・参加・地球環境保全をキーワードとした様々な環境施策に取り組んでいます。

廃棄物対策として、県内における廃棄物の適正な処理体制を確保するため、公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場の整備に取り組むとともに、廃棄物の排出抑制や再生利用等の促進、不法投棄等防止対策の強化など、循環型社会の形成に向けた施策を推進しております。

また、地球温暖化対策の一環として、エコライフやエコオフィス活動の普及啓発を実施するほか、本庁舎等へのE S C O事業(庁舎設備の省エネルギー改修に要する経費を光熱水費の削減分で賄う事業)の導入を進め、民間施設への普及も促進していきます。

更に、豊かな自然を保全するため、やんばるでのマングース駆除事業等移入種対策や、オニヒトデ駆除等サンゴ礁を保全する施策などを実施するとともに、琉球諸島の世界自然遺産登録に向けた普及啓発活動に取り組んでいます。

こうした施策を着実に進め、沖縄の素晴らしい島々を将来へ継承していくためには、県民、事業者、行政等すべての主体が協働・協調して環境保全のための取り組みを進めていくことが大変重要です。

この白書は、平成18年度の本県の環境の現状と対策をまとめたものです。本書を通して、多くの皆様が沖縄の環境の現状や取組への関心と理解を深めていただき、環境保全活動の輪(環)が更に広がっていくことを期待しております。

平成20年 2月

沖縄県知事 仲井眞 弘多

この環境白書は、文化環境部環境政策課がとりまとめたものであり、原稿の執筆にあたっては、次の関係部課等に協力をお願いしました。

文化環境部	環境保全課 環境整備課 自然保護課
福祉保健部	衛生環境研究所
農林水産部	畜産課 営農支援課 村づくり計画課 森林緑地課
観光商工部	産業政策課 経営金融課
土木建築部	技術管理課 道路管理課 河川課 海岸防災課 都市計画・モノレール課 下水道課
教育庁	施設課 義務教育課 県立学校教育課 生涯学習振興課